

松本市市民活動

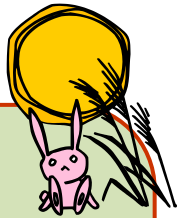
# サポートセンター通信

## NO.29

発行元：松本市市民活動サポートセンター  
〒390-0874 松本市大手 3-8-13  
松本市役所大手事務所 2階  
TEL/FAX：0263-88-2988  
E-mail：support-center@support-center.jp  
URL：http://www.support-center.jp

### 秋の講座や事業いろいろ！…参加してみませんか？

## 市民活動フォーラム2010



地域に根差して活躍する地縁型組織とテーマや目的を同じにして活動する志縁型組織が、市民主体のまちづくりに向けた連携のあり方を一緒に考えます。

■日時 10月1日(金) 午後1時30分～4時

■会場 音楽文化ホール(小ホール)

■テーマ 住民主体の地域づくりに向けた地縁型組織と志縁型組織の連携を考える

■内容

#### ①基調講演

・NPO法人エコ・コミュニケーションセンター  
代表理事 森 良(リョウ)氏

#### ②事例発表

- ・上土町内公民館 館長 岩岡悦子さん
- ・松本のまちづくりを考える女の101人会議 議長 住岡邦子さん

#### ③対話の時間(少人数の話し合い)

「ワールド・カフェ」というお茶感覚の気楽なお喋り

■対象 地域づくりや市民活動を実践している方及び関心のある方 60人程

■参加費 無料

■申込 市民活動サポートセンター(☎88-2988)又は生涯学習課・中央公民館(☎32-1132)へ

### ブログ作成講座

市民活動団体やスタッフの情報発信に役立つ“初心者対象”のブログ作成のための連続講座です。

■日時

<第1回>10月8日(金) 午後7時～9時

<第2回>10月15日(金) 午後7時～9時

■会場 まつもと情報創造館(研修室)  
(和田臨空工業団地内 ☎48-7000)

■内容

<第1回>ブログの登録と記事投稿をしてみよう！

<第2回>携帯で記事を書こう！交流してみよう！

■講師 (株)ウェブエイト 代表 草間淳哉氏

■対象 これからブログを始めてみようとする市民団体やそのスタッフなど

■定員 連続で参加できる方 10人程度

■参加費 無料

■申込 市民活動サポートセンター(☎88-2988)へ

### コミュニティビジネス 起業セミナー

地域の課題をビジネス的手法で解決しようという今話題のコミュニティビジネスの仕組みによる起業を目指すためのセミナーです。

■日時

<第1回>10月12日(火)  
午後1時30分～4時40分

<第2回>10月26日(火)  
午後1時～4時40分

■会場 松本市市民活動サポートセンター

■内容

<第1回>経営の志と経営理念、生存領域

<第2回>事業の推進、販売受注活動

■講師 中小企業診断士 滝澤恵一氏

■対象 コミュニティビジネスの起業を目指したり関心のある方

■定員 連続で参加できる方 20人

■参加費 無料

■申込 長野県企画局 NPO 活動推進室  
(☎026-235-7189)へ

### ファシリテーター養成講座(入門編)

#### 予告

★ 会議上手になるためのファシリテーターを養成する入門講座を予定しています。

<日時> 11月14日(日) 午前9時30分～午後4時30分(予定)

<講師> 青木将幸ファシリテーター事務所 代表 青木将幸氏 ※詳細は後日決定！

# Close up

このコーナーでは、松本市近郊でさまざまな活動をしている団体をご紹介します！！

今回お話をうかがったのは、「松本市消費者の会・環境部会」と「松本子ども劇場」の両団体です。

## 松本市消費者の会・環境部会

◇連絡先 (事務局)

TEL: 0263-33-0001

松本市役所市民生活課内／担当: 村山

松本市消費者の会は、消費生活に関する知識を深め、諸々の実践活動を通して市民の健全な消費生活に努める事を目的として、1974年に設立された。会員数は173名で、会長は原弥生さん。会には、城東地区など9つの地区会の他に「くらしの経済」「資源リサイクル」「生活安全」「環境」「広報啓発」の5つの部会がある。今回お話を伺ったのはその中のひとつ「環境部会」。部会長は桐原園子さんが務める。

現在は12名が在籍し、さまざまな活動に取り組んでいる。原則として、毎月1回市民活動サポートセンターで定例会を開催。環境部会の活動は現在まで融雪剤散布状況の調査や水道凍結防止帯の使用実態調査を実施し、節電対策の普及を行政へ提言してきた。無農薬野菜の普及やゴミ減量の実践を広めるためボカシの利用・啓発も続けてきた。

また環境家計簿のPR・導入や推進にも積極的に取り組んでいる。環境家計簿とは家庭などで消費される電気・ガス・水道などの使用量に一定の係数を掛け、どの程度CO<sub>2</sub>が排出されているのかを算出する方法である。「環境保全に一般的で有効な方法なので、今後は環境家計簿の普及に一層重点を置いて活動していきたい」と桐原さん。

なお環境家計簿についての実践発表は「松本市消費生活展」(下記)においても行われる。



定例会のようす

「第35回松本市消費生活展」

日時: 10月2日～3日 10:00～15:00

会場: あがたの森文化会館

## 松本子ども劇場

◇連絡先 TEL: 0263-33-3423

FAX: 0263-33-0048

URL: <http://www2.bbweb-arena.com/makogek>

松本子ども劇場事務局長の中山真樹子さんにお話を伺った。

松本子ども劇場は、子どもたちに生の舞台を届けたい、地域で、年齢に関係なく、子どもも大人も仲間づくりをしてもらいたいとの思いで、1973年2月設立された。現在の会員数は260人。子どものときに入会して、20代になった現在も会員として活躍している方もいる。

「子どもたちに夢を！たくましく豊かな創造性を」をスローガンに、生の舞台を鑑賞する例会と、思いきり遊ぶ自主活動が行われている。

例会は、低学年向けと高学年向けどちらかに所属し、どちらも年4回の公演がある。自主活動は、幼児サークルぴよぴよ、低学年向けの遊び会、高学年向けのプログラムなどがある。ぴよぴよは、毎月1回開催される育児サークルで、親子で遊んだりパネルシアターを観たりする。低学年の遊び会は、未就園児から低学年の親子で遊びのワークショップなど戸外や屋内で身近な物を使って楽しむ。

毎年夏休みには、小学校4年生以上を参加対象にした子どもキャンプや、高学年の遊び会、中学生・高校生との交流会などもある。

また、まつもと芸術館主催の「まつもとキッズワールド」には企画、運営で携わっている。主ホール、小ホールでの公演もあり、会員だけでなく一般の方も鑑賞できる。「ワークショップもあるので、ぜひ、親子で遊びに来てください」と中山さんは呼びかけている。

また「会員が増えるというだけでなく、運営委員として一緒にやってくれる人がほしい。また会員同士互いに交流し合い、仲間づくりができればいい。子どもたちに学校以外の居場所をつくってあげたい」と語ってくれた。



子どもたちのお泊り会

「まつもとキッズワールド」

期日: 11月23日(祝) 会場: まつもと市民芸術館

市内の日邦バルブ株式会社さんでは毎年2回、会社ぐるみでボランティア活動を実施しています。大勢で参加していただけるので、人数が欲しい大がかりな作業などお願いしています。

今年の春には、高齢者福祉施設で草刈りや窓拭き、庭での力作業など普段職員ができない重労働をこなし、施設からとても喜ばれました。また、参加したみなさんからも「こういう施設があるのを知らなかった。」とか「作業中、入所している高齢者の方からありがとね！と声をかけてもらえて嬉しかった」という感想をいただきました。

ボランティアセンターでは、企業の活動参加はとてもありがたく思っています。これからも多くの皆様のご協力お待ちしております。

問い合わせ先：松本市ボランティアセンター（社協内）

松本市双葉4-16 TEL25-7311



施設で作業する日邦バルブの皆さん

## シリーズ② 『支える人たち』

～ SKF ボランティア協会会長 青山織人さん ～



第2回目は、松本の夏の風物詩「サイトウ・キネン・フェスティバル」です。このイベントを支えようと今年は635人のボランティアが活躍しました。SKF ボランティア協会の仕掛け人、青山織人さんにお話を伺いました。



— SKFボランティア協会の会長をなさっている青山さんですが、このボランティアを始めた経緯を教えてください。

91年にサイトウキネンが始まったときにハーモニーメイト（音楽文化ホール友の会）の会長をしていたので頼まれて（笑い）。翌年このボランティア協会を創ることになったんです。

— 約20年前のその当時と現在とのボランティアの違いはありますか？

阪神淡路大震災が起きた95年は、日本のボランティア元年と言われていますよね。単に「福祉・奉仕」というボランティアのイメージがその頃から変わったと思います。奉仕を超えて市民参加とか、市民活動という形になってきました。例えばSKF ボランティアを考えた場合、音楽祭はなくてもいいものですし「音楽愛好家の集まり」と思われがちですが、そうではなくもっと大きく「松本の大事にどう関わろうか？」という姿勢になってきたと思いますし、そういう形での運営をしています。

— 文化面での活動であってもサークル的な趣味の集まりでなく、地域振興の活動と捉えているということですね？

そうだね。発足当時、農協の青年部に声をかけたらSKFを手伝ってくれました。農協と音楽という一見縁遠い人でも地域の大事に関われるような仕掛けが大事ですね。地域社会の表現の場でもあると言えるのではないのでしょうか。よく使う言葉ですが、「昔氏子、今ボランティア」で、松本にはもともとあった力だと思いますよ。

地域の遺伝子を刺激するだけでもいいですか……。ただ、その遺伝子も地域社会の一員であるというカテゴリーで考えていないと崩れてしまう。今は「文化ボランティア」なんていう新しいカテゴリーで、文化庁が盛んに推奨していますが、松本には以前からあったんです。ところで、ボランティアを日本語に訳すと何だと思いませんか？

— ……奉仕活動でしょうか？

私は“勝手気ままなおせっかい”と揶揄（やゆ）しています（笑い）。往々としてそうなりやすいんです。以前「私はボランティアですから……」と言って、それ以上はやらないという姿勢の方がいました。でもそれでは関わりが無責任なまま終わってしまうんですね。一方で主催者側が人材と見なさず、無料のアルバイト扱いをしたり、人数を多く集めることに意義を持ってしまったりする場合がありますが、それも違う。お手伝い要員で終わっては、地域社会の一員としての役割は果たせないんです。仕事をやり終えても賃金はない、だから結果としてボランティアなんです。報酬は、仕事をきちりやった達成感です。

— 最後に、一言メッセージをお願いします。

ボランティアは、従前にはない人との関わりのステージ。ただ、何をする時も果たすべき役割をちゃんとやろう、ということかな。SKFは「おもしろ、おかしく、懸命に」というモットーでやっています。自分自身も楽しんで懸命に活動したいですね。

（インタビュー：おぐらきみよ）

## イベント情報をお寄せください。

センター通信やホームページで、皆さんのイベント情報や募集情報などをご紹介します。  
皆さんから、たくさんの情報をお待ちしています。



### 第 1 回 信州アディクションセミナー

信州アディクションセミナーでは、アルコールや薬物、ギャンブルといった多種依存症の方、またその家族が集まって問題を解決する「自助グループ」の紹介や、アディクション全般の学びを行っています。今回のセミナーでは、依存症になった人の経験や専門家の意見を伝えることで、若者にも大人にもメッセージを届けます。青少年の教育、非行防止に関心をお持ちの方、アディクションを抱えている方、その影響を受けている方、関心をお持ちの方はぜひご参加ください。

- ◇日時：9月19日(日) 10:00～16:00
- ◇場所：Mウィング(松本市中央1丁目-18-1)
- ◇参加費：無料
- ◇問合せ：信州アディクションセミナー実行委員会事務局  
TEL 090-9666-2507  
E-mail shinshu-addiction.seminar@gmail.com

### インクルージョン コレクション2010

～お互いの違い(個性)を認めあい、その違いを受け入れるインクルージョン社会の実現を目指して～

スペシャルオリンピックス松本の10周年を記念して、ファッションショーを開催します。松本市内の「松本衣デザイン専門学校」で服飾を学ぶ学生さんが制作・プロデュースし、知的障がいのある「スペシャルオリンピックス松本のアスリート」たちがモデルとなって自己表現する地方都市では初のインクルージョンファッションショーです。

- ◇日時：9月26日(日)  
第1回 開場 9:55～ショー11:00～  
第2回 開場 11:55～ショー13:10～  
第3回 開場 14:00～ショー15:20～
- ◇場所：まつもと市民芸術館 小ホール  
(松本市深志3丁目-10-1)
- ◇入場料：1,000円(ドリンク&フード付)
- ◇問合せ：インクルージョンコレクション2010  
実行委員会事務局  
中村 TEL 090-7845-0419  
スペシャルオリンピックス松本のHP  
<http://www.matsuzak.biz/so-matsumoto/categories/>

### カフェギャラリーてくてく キッズふれあい体験プログラム

キッズふれあい体験プログラムは、障害児や障害者と子どもがともに遊び、それぞれの成長を助け合う相互支援の場、保護者や地域の方々に障害に関する理解を深める場として、子どもゆめ基金助成金の交付を受け、月に1回体験教室を行っています。今回の内容は、てくてく農園での農作業体験で数珠玉の収穫と乾燥作業を行います。

- ◇日時：10月16日(土) 10:30～  
カフェギャラリーてくてくに集合  
(住所：松本市元町2丁目-7-13)
- ◇参加費：無料
- ◇対象：3歳～高校生
- ◇問合せ：てくてく TEL 0263-34-0611  
(9:00～17:00 土日、祝日休み)

### 水と緑の会 記念講演

～人はなぜ自然を壊してはいけないのか～

水と緑の会の創立20周年を記念し、慶應義塾大学教授の川村晃生氏を招いて講演会を行います。

- ◇日時：11月21日(日) 13:30～
- ◇場所：松本勤労者センター2F 第1会議室  
(TEL 0263-35-6286)
- ◇アクセス：松本周遊バス 東コース  
「勤労者センター」下車  
※駐車場の台数に制限があるため、  
公共交通機関をご利用ください。
- ◇参加費：無料
- ◇問合せ：水と緑の会 巽(たつみ)  
TEL 0263-46-2683

### 編集後記

「言うまいと思えど今日の暑さかな」  
本当に暑い夏でしたが、ようやく秋の気配が感じられるようになりました。今回のセンター通信もイベントを陰で支えている人、また市民活動団体の方々にお話を伺いました。いずれの皆さんもしっかりと責任感と自覚を持って、またそれぞれの目的や課題に真剣に取り組んでいる姿勢がひしひしと感じられました。お話をいただいた皆さんありがとうございました。  
夏の疲れが出る頃です。健康に留意して充実した秋をお過ごしください。 <K>